

文部科学省は、
 11月18日(火)14時・記者レク、11月20日(木)16時・ラジオ・テレビ解禁
 11月21日(金)新聞朝刊解禁の日程で、記者の皆さんに情報提供します。
 横浜市も同様の日程で、お願いします。

記者発表資料
 平成20年11月18日
 教育委員会事務局
 児童・生徒指導担当課長
 齋藤宗明 671-3250

**平成19年度 児童・生徒指導上の諸問題
 「暴力行為」・「いじめ」の状況調査がまとまりました。**
 (文部科学省「児童生徒の問題行動等生徒指導上の諸問題に関する調査」関連)

平成19年度の市立小・中・高等学校における「暴力行為」・「いじめ」の調査結果は、次のとおりです。

1 横浜市の暴力行為の発生状況(概要)

暴力行為の発生件数は、昨年度より313件(12.3%)増加しました。

小学校での暴力行為は、

対教師暴力が減少し、生徒間暴力と器物損壊の増加が顕著です。

対教師暴力・生徒間暴力・器物損壊は、**一件あたりの加害児童数**(対教師暴力0.53人、生徒間暴力0.97人、器物損壊0.66人)が**少なく、同一特定の児童が暴力行為を繰り返す傾向**が顕著です。

*一件あたりの加害児童数は、加害児童数÷発生件数です。

中学校での暴力行為は、

対教師暴力・生徒間暴力・器物損壊の増加が顕著です。

一件あたりの加害生徒数(対教師暴力0.81人、生徒間暴力1.10人、器物損壊0.62人)が**少なく、同一特定の生徒が暴力行為を繰り返す傾向**が顕著です。

暴力行為の傾向としては、

コミュニケーション能力の不足や規範意識の低さなど社会的スキルの欠如に起因するものが多く見られます。

悪口・中傷などの人間関係上のトラブルや「ふざけ」などから、安易に暴力行為に発展する傾向があります。

一件あたりの加害児童・生徒数は少なく、暴力行為の個別化・個人化の傾向が見られます。

(1) 全暴力行為の発生件数 (4形態の暴力行為の合計)

全暴力行為の発生件数は、2,865件で平成18年度より313件(12.3%)増加しました。

*暴力行為は、平成17年度に2,500件を越え、平成19年度も前年度に比べて313件増加するなど、増加傾向にあります。 [件]

	校種	H17発生件数	H18発生件数	H19発生件数	増減率(%)	
横浜	小学校	375	376	398	5.9	22件増
	中学校	2,175	2,166	2,464	13.8	298件増
	高校	28	10	3	70.0	7件減
	計	2,578	2,552	2,865	12.3	313件増

(2) 対教師暴力発生件数

小学校で大幅な減少が見られました。逆に中学校は大幅に増加し、313件発生しました。

(中学校での発生ピーク時は平成12年度305件) [件]

	校種	H17発生件数	H18発生件数	H19発生件数	増減率(%)	
横浜	小学校	125	151	62	58.9	89件減
	中学校	279	264	313	18.6	49件増
	高校	2	0	0	0	増減なし
	計	406	415	375	9.6	40件減

*一件あたりの加害者数:小学校は0.53人(加害児童数33人)、中学校は0.81人(加害生徒数255人)

*対教師暴力は校内秩序の指標と言えます。この発生は学習環境の乱れや児童生徒の心理的な不安を増幅します。

(3) 生徒間暴力発生件数

小学校で189件、中学校で1,232件と大幅に増加しました。 [件]

	校種	H17発生件数	H18発生件数	H19発生件数	増減率(%)	
横浜	小学校	146	116	189	62.9	73件増
	中学校	1,207	1,104	1,232	11.6	128件増
	高校	13	7	3	57.1	4件減
	計	1,366	1,227	1,424	16.1	197件増

*一件あたりの加害者数:小学校は0.97人(加害児童数184人)、中学校は1.10人(加害生徒数1,359人)、高校は1.33人(加害生徒数4人)

*生徒間暴力は、児童生徒相互の人間関係の質や対人行動のあり方を示す指標の一つと捉えることができます。

(4) 対人暴力発生件数

小学校、中学校ともに減少しました。

(件)

横浜	校種	発生件数			増減率(%)	
		H17	H18	H19	増減率	増減
	小学校	3	6	2	66.7	4件減
	中学校	40	37	36	2.7	1件減
	高校	2	0	0	0	増減なし
	計	45	43	38	11.6	5件減

*一件あたりの加害者数:小学校は1.00人(加害児童数2人)、中学校は1.06人(加害生徒数38人)

(5) 器物損壊発生件数

小学校は145件で平成18年度より42件増加し、中学校は883件と122件増加しました。

(件)

横浜	校種	発生件数			増減率(%)	
		H17	H18	H19	増減率	増減
	小学校	101	103	145	40.8	42件増
	中学校	649	761	883	16.0	122件増
	高校	11	3	0	100.0	3件減
	計	761	867	1,028	18.6	161件増

*一件あたりの加害者数:小学校は0.66人(加害児童数95人)、中学校は0.62人(加害生徒数547人)

*器物損壊行為からは種々のストレスなどを安易に物にぶつけて発散する傾向や、公共物を大切にしないなどの規範意識の低減などが伺えます。

「暴力行為」の調査にかかる文部科学省の定義等

「暴力行為」とは、「**自校の児童生徒が、故意に有形力(目に見える物理的な力)を加える行為**」をいい、被暴力行為の対象によって、次の4形態に分類し調査しています。ただし、家族・同居人に対する暴力行為は調査対象外とします。

「対教師暴力」(教師に限らず、用務員等の学校職員も含む)の例

- ・教師の胸ぐらをつかんだ。
- ・養護教諭めがけて椅子を投げつけた。
- ・定期的に来校する教育相談員を殴った。

「生徒間暴力」(何らかの人間関係がある児童生徒同士の暴力行為)の例

- ・同じ学校の生徒同士がけんかとなり、双方が相手を殴った。
- ・高校学校在籍の生徒2名が、中学校時代の後輩で、中学校在籍の生徒に対して暴行を加えた。
- ・双方が顔見知りで別々の学校に在籍する生徒同士が口論となり、怪我には至らなかったが身体を突き飛ばした。

「対人暴力」(対教師暴力、生徒間暴力を除く)の例

- ・偶然通りかかった他校の見知らぬ生徒と口論になり、暴行を加えた。
- ・金品を奪うことを計画し、金品を奪う際、通行人に怪我を負わせた。
- ・学校行事に来賓として招かれた地域住民を足蹴りにした。

「器物損壊」(学校の施設・設備等の損壊)の例

- ・トイレのドアを故意に壊した。
- ・学校で飼育している動物を故意に傷つけた。
- ・学校備品(カーテン、清掃道具等)を故意に壊した。

3 横浜市のいじめの認知状況(概要)

いじめの認知件数は、1,002件で平成18年度に比べて大幅に減少(355件)しました。

本市のいじめ発生のピークは、平成6年度の2,032件(発生件数)で、その後次第に減少しました。平成18年度は、いじめ定義の変更等に伴い大幅に増加しましたが、平成19年度は、1,002件(認知件数)と前年度比26.2%減となりました。

いじめの認知件数減少の背景

平成18年度から、「いじめ」に対する社会的な関心の高まりによって、大人が発見・解決にかかわろうとした。

学校が、「いじめ対策」に積極的に取り組み、いじめの未然防止、早期発見・早期対応に努めた。

(1) いじめの認知件数

小学校の認知件数は、前年度比29.5%減の185件減少し、中学校でも前年度比22.5%減の161件減少しました。(件)

校種	H17発生件数	H18認知件数	H19認知件数	増減率	
小学校	230件	627件	442件	29.5%	185件減
中学校	560件	716件	555件	22.5%	161件減
高校	4件	14件	5件	64.3%	9件減
計	794件	1,357件	1,002件	26.2%	355件減

(2) いじめの年度内解消率

いじめの年度内解消率は、91.4%です。〔内訳:小学校 91.6% 中学校91.4% 高校80.0%〕

解消率=いじめの年度内解消件数÷いじめ発生総件数×100

いじめの年度内解消件数には、一定の解消が図られたが、継続支援中の件数も含まれます。

(3) いじめの態様

いじめの態様では、「冷やかしゃからかい・言葉での脅かし」「仲間はずれ・無視」などが多く、パソコンや携帯電話などの誹謗中傷も見られます。複数回答 (件)

態様の項目	18年度	19年度	増減率	
冷やかしゃからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる	885件	675件	23.7%	210件減
仲間はずれ、集団による無視	371件	314件	15.4%	57件減
軽くぶつかる、遊ぶふりをして叩く、蹴る	318件	243件	23.6%	75件減
ひどくぶつかる、叩く、蹴る	83件	63件	24.1%	20件減
金品をたかられる	33件	34件	3.0%	1件増
金品を隠す、盗む、壊す、捨てる	85件	114件	34.1%	29件増
嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされる、させられる	81件	85件	4.9%	4件増
パソコンや携帯電話などの誹謗中傷等	80件	78件	2.5%	2件減
その他	44件	32件	27.3%	12件減
計	1,980件	1,638件	17.3%	342件減

(4) いじめの発見のきっかけ

学級担任による発見と本人による訴えが、全体の半数を占めています。(件)

	18年度		19年度		構成比差	
	件数	構成比%	件数	構成比%		
学校の教職員等が発見	569件	100.0	372件	100.0	-	
内訳	学級担任が発見	360件	63.3	259件	69.6	6.3
	学級担任以外の教職員が発見	138件	24.3	53件	14.2	10.1
	春護教諭が発見	12件	2.1	11件	3.0	0.9
	スクールカウンセラー等外部相談員が発見	7件	1.2	4件	1.1	0.1
	アンケート調査など学校の取組により発見	52件	9.1	45件	12.1	3.0
学校の教職員以外からの情報により発見	788件	100.0	630件	100.0	-	
内訳	本人からの訴え	335件	42.5	263件	41.7	0.8
	当該児童生徒の保護者からの訴え	301件	38.2	253件	40.2	2.0
	他の児童生徒からの情報	69件	8.8	55件	8.7	0.1
	他の保護者からの情報	76件	9.6	47件	7.5	2.1
	地域の住民からの情報	5件	0.6	4件	0.6	0.0
	学校以外の関係機関からの情報	2件	0.3	4件	0.6	0.3
	その他(匿名による情報など)	0件	0.0	4件	0.6	0.6
	計	1,357件	-	1,002件	-	-

(5) いじめ発生の背景

規範意識など年齢相応の社会性が未形成で、友人や集団とのかかわりが不得手な子どもの増加。豊かな社会性を育むふれあい体験などの相互交流の体験が不足していることから、子どもが孤立化しやすいなど子どもの集団にいじめを助長する雰囲気醸成される傾向。

いじめの調査基準

文部科学省は、平成18年度に関する調査からは、いじめられた児童生徒の立場に立って、より実態に即して把握できるよう次の様に「いじめの定義」を見直し、調査を実施しました。

本調査において、個々の行為が「いじめ」に当たるか否かの判断は、表面的・形式的に行うことなく、いじめられた児童生徒の立場に立って行うものとする。

「いじめ」とは、「当該児童生徒が、一定の人間関係のある者から、心理的・物理的な攻撃を受けたことにより、精神的な苦痛を感じているもの」とする。なお、起こった場所は学校の内外を問わない。

(注1) 「いじめられた児童生徒の立場に立って」とは、いじめられたとする児童生徒の気持ちを重視することである。

(注2) 「一定の人間関係のある者」とは、学校の内外を問わず、例えば、同じ学校・学級や部活動の者、当該児童生徒が関わっている仲間や集団(グループ)など、当該児童生徒と何らかの人間関係のある者を指す。

(注3) 「攻撃」とは、「仲間はずれ」や「集団による無視」など直接的にかかわるものではないが、心理的な圧迫などで相手に苦痛を与えるものも含む。

(注4) 「物理的な攻撃」とは、身体的な攻撃のほか、金品をたかられたり、隠されたりすることなどを意味する。

(注5) けんか等を除く。

4 今後の取組み ～いじめ・暴力行為防止対策の重点～

「豊かな心」と「たくましく生きる力」の長期的スパンでの育成

いじめなどの人間関係のトラブルを自らから解決できる健全な社会性の取得を促進する児童・生徒指導のあり方の研究推進。

「子どもの社会的スキル横浜プログラム」の推進による健全な社会性の育成

幼・保・小及び小・中学校の協働による教育活動と連動した成長支援

教育相談体制の充実・強化

いじめの早期発見・早期対応を推進するための、校内教育相談体制の整備・充実と、教育総合相談センターの機能充実による支援体制の強化

カウンセラー等の小・中・高等学校派遣による教育相談の充実

いじめ110番24時間体制等による教育相談の充実

学校の指導体制の充実・強化

増加傾向にある「いじめ」等の問題行動の課題に対して、学校が組織的に対応できる児童・生徒指導体制を確立すること

小学校児童指導体制強化モデル事業の推進

専門教諭による全市的な対策協議と実践研究の推進

いじめ・暴力行為への指導プログラムの策定と実践

学校・家庭・地域が一体となった健全育成の推進

学校や地域に状況に応じて、地域・家庭・学校が連携・協働した健全育成活動を継続して実施

支援チームによる学校支援、個別事案に関するサポートチームの編成と指導・支援体制の整備

家庭教育支援のための「子育て研修」の推進 ～「家庭教育学級」や「横浜プログラム」の活用～

教職員の問題解決能力の向上

問題行動への学校の対応力の向上を目指した各種研修の推進(いじめ等の研修資料の作成・配布)

児童生徒指導上の諸課題克服の効果事例の收拾と12のアクションの実践事例集の活用推進

～「児童生徒指導上の諸問題緊急対策プロジェクト」の報告 12のアクションの実践～

市立小・中・高等学校の暴力行為の発生状況

資料 1

形態	校種	年度	学 校 内				学 校 外				内外計		
			公立 学校数	発生 学校数	割合 %	発生 件数	増減率 %	発生 学校数	割合 %	発生 件数	増減率 %	発生 件数	増減率 %
対教師暴力	小学校	15	353	5	1.4	7	41.7	0	0.0	0	-	7	41.7
		16	354	14	4.0	49	600.0	1	0.3	2	-	51	628.6
		17	354	13	3.7	125	155.1	0	0.0	0	-	125	145.1
		18	349	28	8.0	150	20.0	1	0.3	1	-	151	20.8
		19	347	23	6.6	62	58.7	0	0.0	0	100.0	62	58.9
	中学校	15	145	75	51.7	226	22.3	0	0.0	0	10.0	226	23.4
		16	145	67	46.2	204	9.7	2	1.4	2	-	206	8.8
		17	146	77	52.7	276	35.3	3	2.1	3	50.0	279	35.4
		18	146	62	42.5	255	7.6	2	1.4	9	200.0	264	5.4
		19	145	79	54.5	304	19.2	3	2.1	9	0.0	313	18.6
	高等学校	15	12	3	25.0	6	100.0	0	0.0	0	100.0	6	50.0
		16	12	2	16.7	4	33.3	0	0.0	0	-	4	33.3
		17	11	1	9.1	2	50.0	0	0.0	0	-	2	50.0
		18	9	0	0	0	100.0	0	0.0	0	-	0	100.0
		19	9	0	0	0	-	0	0.0	0	-	0	-
	計	15	510	83	16.3	239	21.9	0	0.0	0	100.0	239	23.2
		16	511	83	16.2	257	7.5	3	0.6	4	-	261	9.2
		17	511	91	17.8	403	56.8	3	0.6	3	25.0	406	55.6
		18	504	90	17.9	405	0.5	3	0.6	10	233.3	415	2.2
19		501	102	20.4	366	9.6	3	0.6	9	10.0	375	9.6	

生徒間暴力	小学校	15	353	16	4.5	108	620.0	5	1.4	5	-	113	653.3
		16	354	30	8.5	145	34.3	2	0.6	3	40.0	148	31.0
		17	354	26	7.3	143	1.4	2	0.6	3	0.0	146	1.4
		18	349	34	9.7	106	25.9	8	2.3	10	233.3	116	20.5
		19	347	52	15.0	175	65.1	10	2.9	14	40.0	189	62.9
	中学校	15	145	122	84.1	862	16.8	67	46.2	146	55.3	1,008	21.2
		16	145	125	86.2	847	1.7	66	45.5	122	16.4	969	3.9
		17	146	123	84.2	1,078	27.3	65	44.5	129	5.7	1,207	24.6
		18	146	124	84.9	949	12.0	74	50.7	155	20.2	1,104	8.5
		19	145	133	91.7	1,079	13.7	69	47.6	153	1.3	1,232	11.6
	高等学校	15	12	5	41.7	7	46.2	1	8.3	1	85.7	8	60.0
		16	12	4	33.3	7	0.0	1	8.3	2	100.0	9	12.5
		17	11	4	36.4	13	85.7	0	0.0	0	100.0	13	44.4
		18	9	3	33.3	7	46.2	0	0.0	0	-	7	46.2
		19	9	1	11.1	2	71.4	2	22.2	1	-	3	57.1
	計	15	510	143	28.0	977	27.5	73	14.3	152	50.5	1,129	30.2
		16	511	159	31.1	999	2.3	69	13.5	127	16.4	1,126	0.3
		17	511	153	29.9	1,234	23.5	67	13.1	132	3.9	1,366	21.3
		18	504	161	31.9	1,062	13.9	82	16.3	165	25.0	1,227	10.2
19		501	186	37.1	1,256	18.3	81	16.2	168	1.8	1,424	16.1	

対人暴力	小学校	15	353	1	0.3	1	0.0	2	0.6	3	200.0	4	100.0
		16	354	1	0.3	1	0.0	0	0.0	0	100.0	1	75.0
		17	354	0	0.0	0	100.0	3	0.8	3	-	3	200.0
		18	349	2	0.6	4	-	2	0.6	2	33.3	6	100.0
		19	347	1	0.3	1	75.0	1	0.3	1	50.0	2	66.7
	中学校	15	145	2	1.4	2	66.7	21	14.5	31	26.2	33	31.3
		16	145	0	0.0	0	100.0	19	13.1	27	12.9	27	18.2
		17	146	3	2.1	4	-	23	15.8	36	33.3	40	48.1
		18	146	2	1.4	2	50.0	20	13.0	35	2.8	37	7.5
		19	145	9	6.2	15	650	13	9.0	21	40.0	36	2.7
	高等学校	15	12	0	0.0	0	100.0	0	0.0	0	100.0	0	100.0
		16	12	0	0.0	0	-	1	8.3	1	-	1	-
		17	11	1	9.1	1	-	1	9.1	1	0.0	2	100.0
		18	9	0	0.0	0	100.0	0	0.0	0	100.0	0	100.0
		19	9	0	0.0	0	-	0	0.0	0	-	0	-
	計	15	510	3	0.6	3	66.7	23	4.5	34	24.4	37	31.5
		16	511	1	0.2	1	66.7	20	3.9	28	17.6	29	21.6
		17	511	4	0.8	5	400.0	27	5.3	40	42.9	45	55.2
		18	504	4	0.8	6	20.0	22	4.4	37	7.5	43	4.4
19		501	10	20.0	16	166.7	14	2.8	22	40.5	38	11.6	

器物損壊	小学校	15	353	14	4.0	38	72.7	-	-	-	-	38	72.7
		16	354	17	4.8	45	18.4	-	-	-	-	45	18.4
		17	354	27	7.6	101	124.4	-	-	-	-	101	124.4
		18	349	40	11.5	103	2.0	-	-	-	-	103	2.0
		19	347	44	12.7	145	40.8					145	40.8
	中学校	15	145	111	76.6	833	50.4	-	-	-	-	833	50.4
		16	145	95	65.5	659	20.9	-	-	-	-	659	20.9
		17	146	97	66.4	649	1.5	-	-	-	-	649	1.5
		18	146	103	70.5	761	17.3	-	-	-	-	761	17.3
		19	145	118	81.4	883	16.0					883	16.0
	高等学校	15	12	3	25.0	19	35.7	-	-	-	-	19	35.7
		16	12	2	16.7	4	78.9	-	-	-	-	4	78.9
	学校	17	11	2	18.2	11	175.0	-	-	-	-	11	175.0
		18	9	2	22.2	3	72.7	-	-	-	-	3	72.7
		19	9	0	0	0	100.0					0	100.0
	計	15	510	128	25.1	890	50.8	-	-	-	-	890	50.8
		16	511	114	22.3	708	20.4	-	-	-	-	708	20.4
		17	511	126	24.7	761	7.5	-	-	-	-	761	7.5
		18	504	145	28.8	867	13.9	-	-	-	-	867	13.9
19		501	162	32.3	1,028	18.6					1,028	18.6	

全 体	小学校	15	353	31	8.8	154	208.0	10	2.8	8	700.0	162	217.6
		16	354	38	10.7	240	55.8	3	0.8	5	37.5	245	51.2
		17	354	47	13.3	369	53.8	5	1.4	6	20.0	375	53.1
		18	349	69	19.8	363	1.6	10	2.9	13	116.7	376	0.3
		19	347	81	23.3	383	5.5	10	2.9	15	15.4	398	5.9
	中学校	15	145	145	100.0	1,923	21.0	129	89.0	177	26.4	2,100	21.5
		16	145	131	90.3	1,710	11.1	76	52.4	151	14.7	1,861	11.4
		17	146	131	89.7	2,007	17.4	78	53.4	168	11.3	2,175	16.9
		18	146	134	91.8	1,967	2.0	84	57.5	199	18.5	2,166	0.4
		19	145	140	96.6	2,281	16.0	75	51.7	183	8.0	2,464	13.8
	高等学校	15	12	6	50.0	32	0.0	1	8.3	1	90.0	33	21.4
		16	12	6	50.0	15	53.1	2	16.7	3	200.0	18	45.5
		17	11	4	36.4	27	80.0	1	9.1	1	66.7	28	55.6
		18	9	5	55.6	10	63.0	0	0.0	0	100.0	10	64.3
		19	9	1	11.1	2	80.0	2	22.2	1	100.0	3	70.0
	計	15	510	182	35.7	2,109	26.2	140	27.5	186	23.2	2,295	26.0
		16	511	175	34.2	1,965	6.8	81	15.9	159	14.5	2,124	7.5
		17	511	182	35.6	2,403	22.3	84	16.4	175	10.1	2,578	21.4
		18	504	208	41.3	2,340	2.6	94	18.7	212	21.1	2,552	1.0
19		501	222	44.3	2,666	13.9	87	17.4	199	6.1	2,865	12.3	

市立小・中・高等学校のいじめの認知(発生)状況 (平成17年度までは発生状況、平成18年度以降は認知状況) 資料2

校種	年度	学校総数	認知(発生)学校数	認知(発生)率	認知(発生)件数	認知(発生)件数増減率	1校当りの認知(発生)件数
		A	B	B/A	C		C/A
小学校	15	353	91	25.8	247	77.7	0.7
	16	354	55	15.5	129	47.8	0.4
	17	354	80	22.6	230	78.3	0.6
	18	349	184	52.7	627	172.6	1.8
	19	347	147	42.4	442	29.5	1.3
中学校	15	145	114	78.6	476	9.2	3.3
	16	145	115	79.3	436	8.4	3.0
	17	146	116	79.5	560	28.4	3.8
	18	146	121	82.9	716	27.9	4.9
	19	145	125	86.2	555	22.5	3.8
高等学校	15	12	4	33.3	5	0.0	0.4
	16	12	2	16.7	3	40.0	0.3
	17	11	3	27.3	4	33.3	0.4
	18	9	6	66.7	14	250.0	1.6
	19	9	4	44.4	5	64.3	0.6
計	15	510	209	41.0	728	25.5	1.4
	16	511	172	33.7	568	22.0	1.1
	17	511	199	38.9	794	39.8	1.6
	18	504	311	61.7	1,357	70.9	2.7
	19	501	276	55.1	1,002	26.2	2.0